

堺市で暮らす障害児者を支える 関係機関の縦横連携の課題

社会福祉法人三篠会 堺市立重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかい
渡辺美咲 松浦雄史 杉田麻美 小澤明人

日本重症心身障害学会 C O I 開示

渡辺美咲 松浦雄史 杉田麻美 小澤明人

演題発表に関連し、発表者および全ての共同発表者には
過去3年間に於いて、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。

※本調査に関する対象者の皆様には、発表についての同意をいただいています。

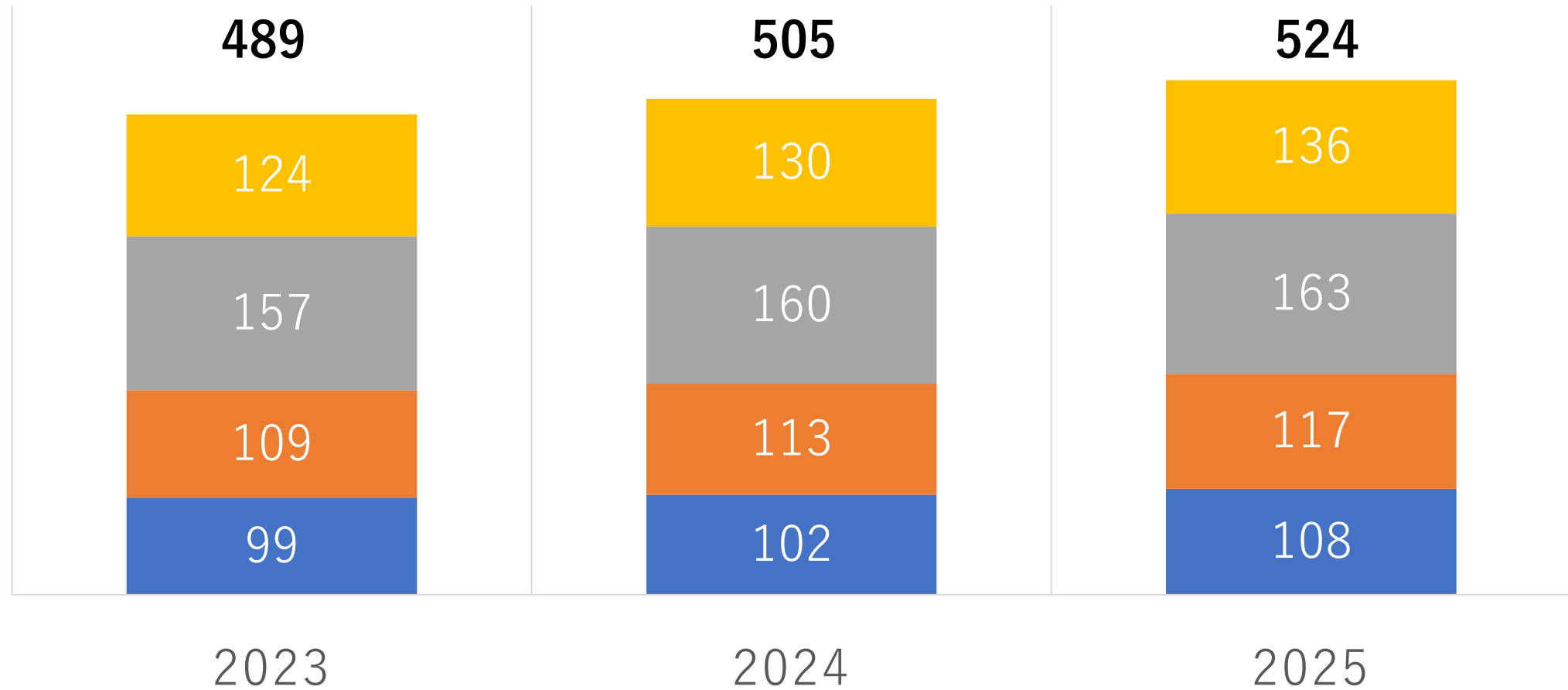
はじめに

- 「ベルデさかい」は大阪府堺市の重症心身障害者(児)施設
- **地域支援事業**は地域の障害児者とその家族の生活支援を実施
- 「**堺ミーティング**」は障害児者の課題について、**地域の事業所と多職種**で情報交換することが目的



堺市の事業所数の推移

■ 訪問看護 ■ 生活介護 ■ 放課後デイ ■ 児童発達支援



事業所数の増加に伴い、縦横連携の課題が生じていると推測される

研究の背景と目的

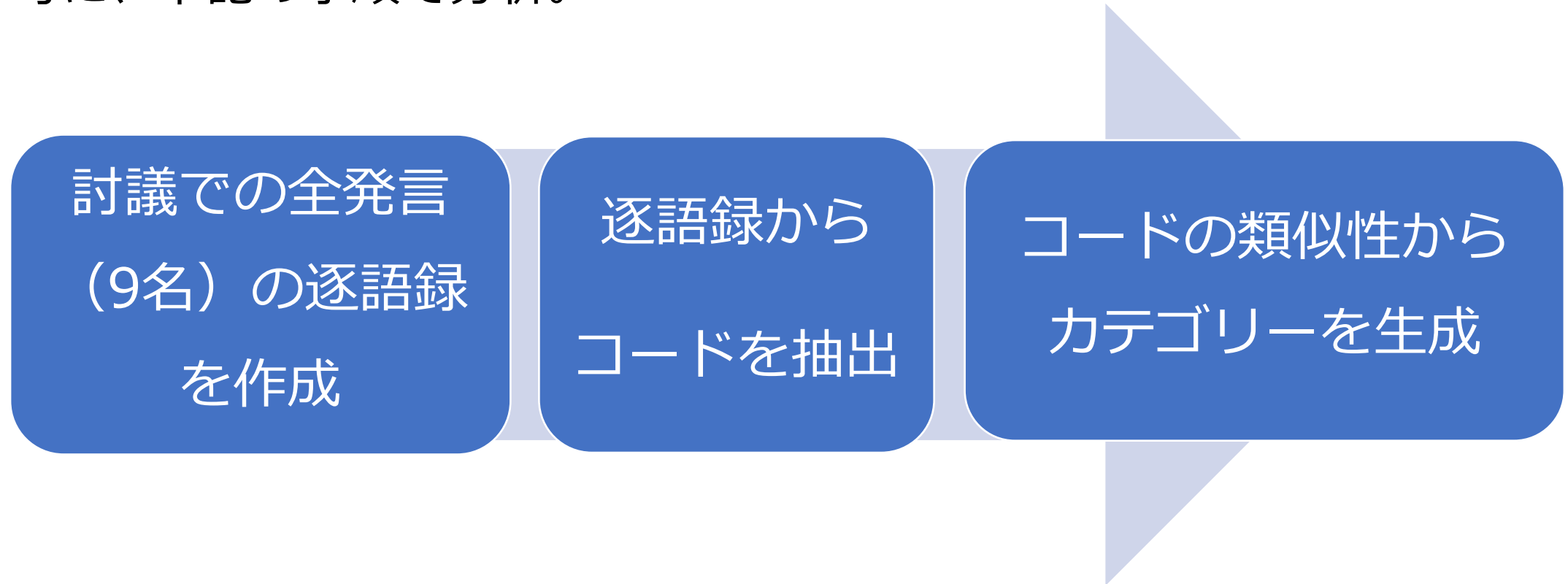
- 昨年の「堺ミーティング」で、児童発達支援、放デイからの話題提供をもとに、関係機関の縦横連携を論議
- 参加者は18施設、48名。職種は福祉職、医療職、教員、行政職など。
- 本研究の目的は、「堺ミーティング」の討議内容から、堺市の縦横連携の課題を明らかにし、対策を検討すること。



堺ミーティングの様子

研究の方法

- ・「堺ミーティング」の討議での発言を、「質的データ分析法」（佐藤、2008）を参考に、下記の手順で分析。



- ・ 生成されたコード、カテゴリーから縦横連携の課題を分析した

コードの分類結果

	カテゴリー	サブカテゴリー	コード
1	障害児の地域での現状	1	3
2	保護者同士のつながり	1	4
3	保護者の役割	3	12
4	医療的ケア児の学校生活	2	7
5	支援学校の意義	1	2
6	関係機関のつながり	3	9
7	関係機関の間での情報伝達	4	26
8	業務の役割の確認	1	2

縦横連携に関する、**3.6.7**について課題を検討

カテゴリー【保護者の役割】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
支援学校における 保護者の負担	移行期の保護者の役割	事業所における 保護者への関わり
コード	コード	コード
<ul style="list-style-type: none">・母が付き添いして教員に指導している・児童デイから学校への引継ぎは確立されておらず、保護者の力が必要	<ul style="list-style-type: none">・行政も一貫した支援は困難で母が中心となる・障害児支援は保護者の意向で動く	<ul style="list-style-type: none">・保護者を育てるという役割・母の相談にはデイでの成長過程や過去の事例を伝える

【保護者の役割】における課題

関係機関をつなぐ役割を保護者が担わざるをえない

カテゴリー【関係機関のつながり】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
行政・制度による 支援体制	情報共有・連携の課題	支援学校と地域との 協働支援
コード	コード	コード
<ul style="list-style-type: none"> ・堺市の運営科による巡回制度 ・A園による保育所等訪問事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイのみ利用の子ども の引継ぎの困難さ ・複数施設利用児の施設 間連携が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からも情報提起を してほしい ・地域で連携して子ども を支援

【関係機関のつながり】における課題

利用事業所数の増加を背景に、関係機関同士のつながりが希薄

カテゴリー【関係機関の間での情報伝達】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
移行期の情報伝達	個別支援計画に関すること	施設間連携に関すること	情報伝達ファイルに関すること
コード	コード	コード	コード
<ul style="list-style-type: none">・引継ぎ不足により子どもが不適応行動を起こす・行政間での連携はスムーズにいきやすい	<ul style="list-style-type: none">・経年推移がわかる個別計画の作成の実現には至らず・個別支援計画をまとめると流れがわかりやすい	<ul style="list-style-type: none">・生活介護事業所においても連携や移行期は課題・支援には医療も含めた連携があると良い	<ul style="list-style-type: none">・情報伝達ファイルの実用的な作成や活用には至っていない・過去を知ることが出来るツールは必要

【関係機関の間での情報伝達】における課題

出生～成人までをつなぐ既存の情報伝達ファイルの活用が不十分

結果のまとめ

課題	内容
①保護者の役割	関係機関をつなぐ役割を保護者が担わざるをえない
②関係機関のつながり	利用事業所数の増加を背景に、関係機関同士のつながりが希薄
③関係機関の間での情報伝達	出生～成人までをつなぐ情報伝達ファイルの活用が不十分

考察 先行研究との比較

カテゴリー	堺市の課題	先行研究の指摘
保護者の役割	機関の間のつなぎ役を保護者が担わざるをえない	保護者と事業所間の相互理解の促進（佐藤ら、2021）
関係機関のつながり	施設間の繋がりが希薄	多機関の情報共有の必要性（北村ら、2023）
関係機関の間での情報伝達	情報伝達ファイルが未活用	引継ぎ時のサポートファイルの有効性（平生ら、2021）

- ・ 堺市の縦横連携の課題は、**先行研究と類似点**があった。
⇒これらの先行研究を参考に、対応策を検討した。

考察 今後に向けての対応策

方向性	具体的方策
① 保護者支援	引継ぎを保護者と連携して行えるよう、役割分担を明確化
② 機関同士の関係作り	「堺ミーティング」をはじめ、定期的に多機関が参加する研修や会議を設定
③ 情報伝達ファイルの活用	伝達ファイルの活用方法の検討

ライフステージを通した、とぎれのない支援の構築を目指す

参考文献

- 平生尚之・平生綾乃・井澤信三（2021）発達障害児者のための行政版サポートファイルの有用性に関する研究．LD研究 Vol30, 362-373.
- 北村早知香・松山郁夫（2023）：知的障害特別支援学校小学部における新入学児の情報共有．佐賀大学教育学部研究論文集 Vol7, 101-109.
- 佐藤匡仁・鈴木和子・齋藤昭彦（2021）：発達障害児の支援システムにおける情報共有の現状と課題（第1報）－岩手県一関市の小学校・中学校と放課後等デイサービスとの連携を中心に－．岩手県立大学社会福祉学部紀要，第23巻，63-72.
- 佐藤 郁哉（2008）：質的データ分析法，新曜社